

【基礎的な問題】難易度：易

次の文をよく読んで、①～⑩の {アまたはイ} のうち正しいほうを記号で選び、さらに、あととの問い合わせに答えなさい。

西アジアからアフリカ北東部一帯は、ヨーロッパから見て「日の昇るところ」を意味する① { ア. オリエント イ. 肥沃な三日月 } 地方と呼ばれる。この地域では早くから農耕が営まれ、a 大河に恵まれたメソポタミア地方とエジプト地方では大河に沿って定住が進み、② { ア. 混合 イ. 灌溉 } 農業が行なわれるようになると都市国家へと発展し、前3000年頃までにb 文明が成立した。

メソポタミア地方では、民族系統不明の③ { ア. シュメール イ. ヒクソス } 人がウルやウルクに都市国家を建設し、最古の文明を築いた。その後、セム語系の民族を中心に都市国家や王国が形成された。バビロンを都とした④ { ア. バビロン第1王朝 イ. カッシート } はメソポタミア全土を支配し、前18C頃、⑤ { ア. ハンムラビ王 イ. クフ王 } の治世に全盛期をむかえた。一方、エジプト地方は閉鎖的な地形から、文明が起こるとエジプト人による支配が長く続いた。王は⑥ { ア. ヤハウエ イ. ファラオ } の称号で呼ばれ、太陽神ラーの子として専制政治を行った。

前17Cに入ると、この地域ではc インド=ヨーロッパ語族に属する諸民族の活動が活発となり、この地域に⑦ { ア. 青銅器 イ. 鉄器 } をもたらし、この地域の交流や抗争が激しく展開された。d 交易活動も活発におこなわれるようになり、東地中海からイラン高原あたりまで文明圏が広まった。前7C前半、この地域を征服し、さまざまな民族を支配したのが、⑧ { ア. アッシャリア イ. イスラエル } であり、前6C半ばに建国してこれに続いた⑨ { ア. アケメネス イ. ササン } 朝ペルシアであった。この国は第3代⑩ { ア. アメンホテプ4世 イ. ダレイオス1世 } の時代に全盛期をむかえ、e 広大な地域を支配した。

問1 下線部aについて、この2つの地域に関わりのない川を下から記号で選びなさい。

ア インダス川 イ ティグリス・ユーフラテス川 ウ ナイル川

問2 下線部bについて、下の短文のうち、メソポタミア地方に関わりが深いものは1、エジプト地方に関わりが深いものは2で答えよ。

ア 楔形文字がつくられ、粘土板に刻まれた。

イ 1年を365日とする太陽暦が使われた。

ウ 王の墳墓と考えられるピラミッドが造営された。

エ ジッグラト（聖塔）が建設された。

オ ロゼッタ・ストーンが文字解読の手掛かりとなった。

カ 同害復讐の原則に立つ法典が編纂された。

問3 下線部cについて、この語族に属する民族を下から記号で選びなさい。

ア アラム人 イ ヒッタイト人 ウ アッカド人

問4 下線部dについて、交易活動に従事していたフェニキア人について正しく述べている文を下から記号で選びなさい。

ア イタリア半島に植民都市カルタゴを建設した。

- イ 彼らが使った文字はアルファベットの起源となった。
ウ ダマスクスが活動拠点であった。

問5 下線部eについて、⑨朝ペルシアについて正しく述べている文を下から記号で選びなさい。

- ア サトラップに各州に統治させた。
イ ニネヴェを首都とし、大図書館を建設した。
ウ ユダヤ教が信仰された。

解答欄

① ア	② イ	③ ア	④ ア	⑤ ア
⑥ イ	⑦ イ	⑧ ア	⑨ ア	⑩ イ
問1	問2			
ア	ア 1	イ 2	ウ 2	エ 1
問3		問4		問5
イ		イ		ア

空欄補充は各1点

問1・2・3・4・5は各2点 計30点